

どこでもリライト
アプリケーションマニュアル

2025年12月22日

高圧ガス工業株式会社

ITソリューション事業本部

- 本書の一部または全部の無断記載、無断複写を禁止いたします。
- 本書の内容及び製品につきましては改良のため予告なしに変更することがあります。

販売元 **高圧ガス工業株式会社**
ITソリューション事業本部

東京事務所 〒100-0011
東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階
(営業部) TEL 03-3595-3128 (代表)
FAX 03-3595-3121
MAIL tokyo-info@koatsugas.co.jp

京 都 〒610-0311
京都府京田辺市草内宮ヶ森3-3
(技術部) TEL 0774-63-7800 (代表)
FAX 0774-63-7557
MAIL kyoto-info@koatsugas.co.jp

目次

目次.....	3
1. 概要	5
2. 注意事項	5
3. 動作環境.....	5
4. インストール.....	6
4.1. TestFlight を使用したインストール(iOS 向け).....	7
4.2. AppStore を使用したインストール(iOS 向け)	8
4.3. apk ファイルを使用したインストール(Android 向け).....	9
5. アンインストール.....	10
5.1. iOS	10
5.2. Android	11
6. ご使用の前に.....	12
6.1. 認証	12
6.1.1. ログイン認証.....	12
6.1.2. オフライン利用	12
6.2. テンプレート	13
6.2.1. インストール時の初期テンプレート	14
6.2.2. 設定ファイル.....	14
6.2.3. 背景画像ファイル.....	14
7. ディスプレイタグの表示発行	15
7.1. ディスプレイタグのアンテナ位置.....	15
7.2. 表示の発行	15
8. 画面	17
8.1. ログイン画面.....	17
8.2. メインメニュー	18
8.3. 入力画面.....	19
8.3.1. 固定の UI	19
8.3.2. 入力フォーム.....	20
8.3.3. リージョンの設定項目一覧.....	21
8.3.4. 設定可能な入力方法.....	22
8.3.4.1. テキスト入力.....	22
8.3.4.2. バーコード入力	22
8.3.4.3. 選択入力	23
8.3.4.4. 加算/減算入力.....	23
8.3.5. 置換入力	24
8.4. ツール画面	25
8.5. アカウント設定画面.....	26
8.6. 設定画面	27
8.7. QR コード生成画面.....	28
8.8. テンプレート取込画面	30

8.9.	テンプレート編集画面(8 版)	34
8.10.	ライセンス画面	37
9.	カスタム URL による各画面の起動.....	38
10.	履歴データ	39
11.	ログデータ	39
12.	Q&A.....	40
改訂歴.....		41

1. 概要

本書は、どこでもリライト(以下、本アプリという)に関する説明を記載しています。本アプリは、本アプリの入力データを元に NFC ディスプレイタグ(製品型番：NANA270。以降ディスプレイタグと言う)の表示が発行可能なアプリケーションです。主にスマートフォン(Android 端末,iPhone)向けに開発されています。入力画面はユーザーで自由にカスタマイズする事が可能です。

ディスプレイタグの詳細については「NFC2.7” ディスプレイタグ製品仕様書」をご参照ください。

2. 注意事項

- ・本書、本アプリに起因して発生する直接、間接、特別または必然の損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・本書に登場する会社名や商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

3. 動作環境

本アプリの動作環境は以下の通りです。

表 3-1 動作環境

項目	内容
対応 OS	Android iOS(iPhone)
FeliCa 搭載	必須
その他必要事項	インターネット接続(ログイン認証時) どこでもリライト用アカウント

[注意]

ディスプレイタグは NFC リーダ/ライタからの電力供給と通信することで、表示を変更する製品です。端末に搭載している NFC リーダ/ライタの電力供給が不足している場合、表示の書き換えが難しい場合がございます。

4. インストール

下記表のインストール方法が選択可能です。

インストール方法の詳細は次ページ以降に記載します。

表 4-1 インストール方法一覧

OS	インストール方法	必要なもの	備考
iOS	TestFlightを使用したインストール	メールアドレス インターネット接続	導入前評価、デモを想定
iOS	AppStoreを使用したインストール	インターネット接続 ABM、MDM、または 引き換えコード	本導入、導入前評価を想定
Android	apkファイルを使用したインストール	apkファイル 端末へファイル転送が 可能な環境(PCなど)	導入前評価、デモ、本導入を想定

[表中用語の解説]

1. AppStore

Apple®が提供する iPhone、iPad、MacPC 向けのアプリのダウンロードサービスです。

2. PlayStore

Google®が提供する Android デバイス向けのアプリのダウンロードサービスです。

3. TestFlight

Apple®が提供する無料のベータ版テストツールアプリケーションです。

TestFlight を AppStore 経由でインストールいただき、TestFlight 経由で本アプリをインストールする事が可能です。

4. ABM

「Apple Business Manager」の略称です。Apple®が提供する法人向けの Apple デバイス、アプリ、アカウントを一元管理するための無料サービスです。

5. MDM

「Mobile Device Management」の略称です。スマートフォンやタブレットなどのモバイルデバイスを一元管理するアプリケーションの総称です。単一のアプリケーションを示すものではありません。

6. 引き換えコード

MDM で管理されていない端末にインストールする場合に使用するコードです。

ABM から払い出されます。

7. apk ファイル

Android 用のインストール実行ファイルです。

高圧ガス工業㈱から提供されます。

4.1. TestFlight を使用したインストール(iOS 向け)

TestFlight を使用してインストールする場合の手順を下記に記載します。インストールする端末でメールを開く場合と、それ以外の端末(PC など)とでコードの入力有無が異なります。

[事前準備]

下記②の招待メールを送信する必要があるため、どこでもリライトの営業担当へご自身が使用可能なメールアドレスをご連絡お願いいたします。



図 4-1 インストール手順(端末でメールを開く場合)



図 4-2 インストール手順(端末以外でメールを開く場合)

表 4-2 インストール手順

番号	説明	
	インストールする端末でメールを開く場合	インストールする端末以外でメールを開く場合
①	AppStore から TestFlight をインストールします。 https://apps.apple.com/jp/app/testflight/id899247664	
②	ご準備いただいたメールアドレスにてインストールの招待メールを受信しているか確認し、受信している場合はメールを開きます。	
③	②で開いたメール内の”View in TestFlight”を押下すると、TestFlight が自動で起動され、インストール画面が表示されます。	②で開いたメール内の”View in TestFlight”を押下して TestFlight で入力するコードを確認します。
④	TestFlight の画面の”インストール”を押下すると、本アプリのインストールが開始されます	TestFlight のアプリを起動し、”コードを使う”から③のコードを入力してインストールを開始します。

4.2. AppStore を使用したインストール(iOS 向け)

AppStore を使用してインストールする場合の手順を下記に記載します。

この方法は Apple から法人向けに提供される ABM(Apple Business Manager)が必要です。

①組織 ID の登録

ご使用中の ABM に表示されている組織 ID を高圧ガス工業へご連絡ください。その後、高圧ガス工業にてご連絡いただいた組織 ID を配信先として AppStore に登録いたします。



図 4-3 組織 ID 登録までの流れ

②端末へのインストール

AppStore から本アプリを購入いただき、端末にインストールします。

MDM の使用有無によってインストールの手順が異なります。

[補足]

ABM,MDM の詳細は各提供メーカーへお問い合わせください

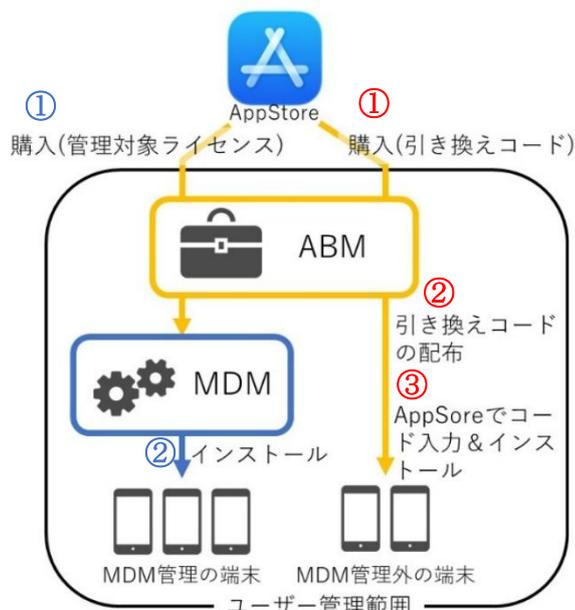


図 4-4 端末へのインストールまでの流れ

表 4-3 端末へのインストールまでの流れ

番号	MDM を使用する	MDM を使用しない
①	ライセンスの種類”管理対象ライセンス”を選択して購入する。 ※本アプリのインストールは無料です。	ライセンスの種類”引き換えコード”を選択して購入する。 ※本アプリのインストールは無料です。
②	MDM から端末へ本アプリをインストールする。	本アプリを使用する使用者へ引き換えコードを配布する。
③		AppStore に引き換えコードを入力し、インストールする。

4.3. apk ファイルを使用したインストール(Android 向け)

apk ファイルを使用してインストールする場合の手順を下記に記載します。

※画面は Android14 のものです

[注意事項]

端末によっては”提供元不明アプリ”をインストール可能にする必要があります。

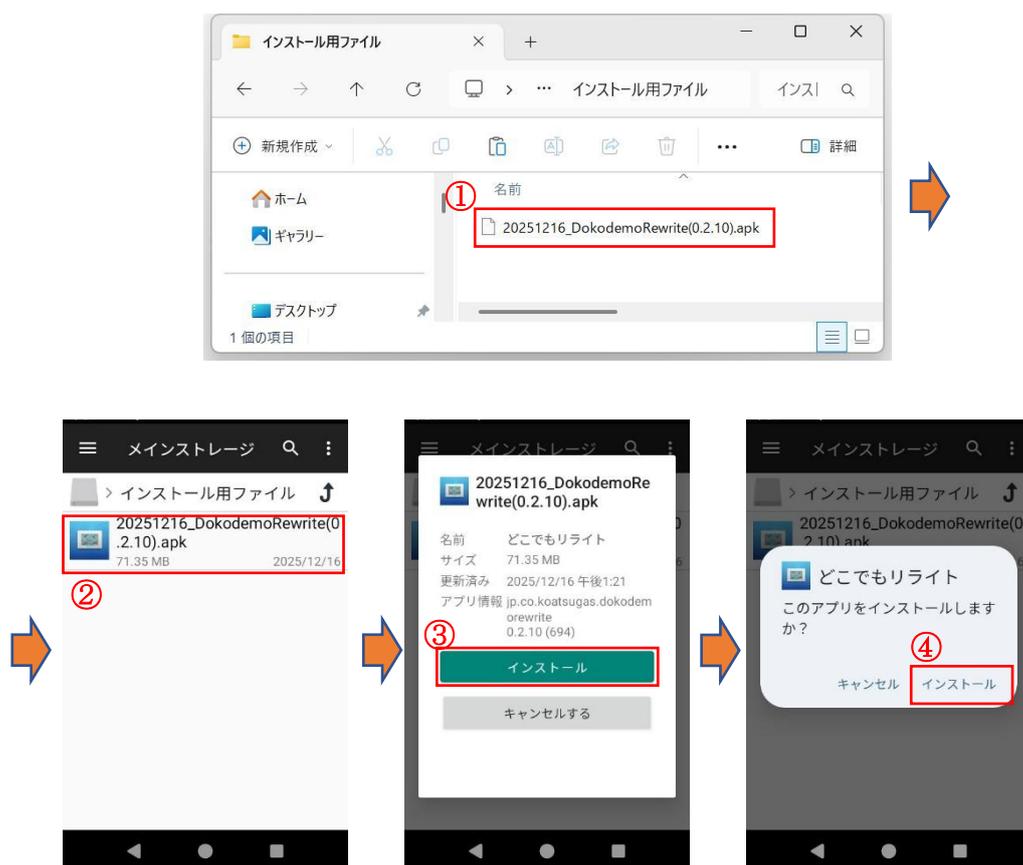


図 4-5 apk ファイルを使用したインストールの手順

表 4-4 apk ファイルを使用したインストールの手順

番号	手順
①	PCなどを使用して端末からアクセス可能なフォルダに apk ファイルを保存します。 上記スクリーンショットでは端末内の内部ストレージ/インストール用ファイル/に保存しています。
②	端末にてファイル管理ソフト等を使用し、①で保存した apk ファイルを開きます。 ※画面のファイル管理ソフトは一例です。
③	インストール用のダイアログが表示されますので”インストール”を選択します
④	再度”インストール”を選択します。

5. アンインストール

以下に OS ごとのアンインストール方法を記載します。

[注意]

- OS のバージョンによって画面や操作が異なる場合がございます。
- アンインストール後の再使用には、再度ログイン認証が必要になります。
ログイン認証に関する詳細は「6.1.認証」を参照ください。

5.1. iOS

下記の手順でアンインストールが可能です。

※画面は iOS18 のものです。



図 5-1 iOS のアンインストールの手順

表 5-1 iOS のアンインストール手順

番号	説明
①	ホーム画面の本アプリのアイコンを長押しし、「アプリを削除」をタップします。
②	①の後、確認ダイアログが表示されます。 「アプリを削除」をタップします。
③	②の後、再度確認ダイアログが表示されます。 「削除」をタップします。 アンインストールされます。

5.2. Android

下記の手順でアンインストールが可能です。

※画面は Android11 のものです

[注意]

Android の場合はアンインストール時に本アプリのデータは自動で削除されません。

本アプリのデータが不要な場合は下記フォルダを手動で削除ください。

削除するフォルダ：\内部ストレージ\Koatsugas\DokodemoRewrite



図 5-2 Android のアンインストール手順

表 5-2 Android のアンインストール手順

番号	説明
①	設定アプリを開き、“アプリと通知”をタップします。
②	インストールされているアプリケーションの一覧が表示されるので“どこでもリライト”をタップします。
③	“どこでもリライト”の詳細画面が表示されるので、“アンインストール”をタップします。
④	アンインストールの確認ダイアログが表示されるので、“OK”をタップしてください。 アンインストールされます。

6. ご使用の前に

以下に本アプリのご使用の前に必要な内容に関して記載します。

6.1. 認証

本アプリは以下に記載するログイン認証をする事で利用が可能です。また、一度ログイン認証に成功した端末は、以降ログイン認証なしでオフラインでの本アプリの利用が可能です。操作の詳細は「8.1.ログイン画面」を参照ください。

6.1.1. ログイン認証

メーカーが発行したアカウント ID、パスワードでログインすることで認証します。
ログイン認証時はインターネットへの接続が必要です。

6.1.2. オフライン利用

ログイン認証済みの端末の場合、以降はオフラインの場合でも本アプリを利用する事が可能です。オフラインで利用する場合はログイン画面にて”オフライン利用”ボタンを押下します。

[注意]

アンインストール後の再使用には、再度ログイン認証が必要になります。

6.2. テンプレート

本アプリにてディスプレイタグの表示を発行するためには、使用する端末内の特定フォルダにテンプレートを配置する必要があります。テンプレートとは、入力画面を生成するために必要な”設定ファイル”と”背景画像ファイル”組み合わせの事を指します。**設定ファイルと背景画像ファイルのファイル名(拡張子を除く)を同じにする事で、1つのテンプレートとして本アプリに認識されます。テンプレートは、1つの入力画面ごとに1セット配置する必要があります(図 6-1 テンプレートの配置イメージ)。**テンプレートは OS ごとの下記設定フォルダに配置する必要があります。手動でファイルを配置する場合は、下記表を参考にファイルを配置してください。本アプリ内の「8.8.テンプレート取込画面」からテンプレートを取り込む場合は自動で設定フォルダに配置されます。

[注意]

設定ファイルのみ、または背景画像ファイルのみを設定フォルダに配置しても入力画面は生成されません。(メインメニューにボタンが表示されません)

表 6-1 OS ごとの設定フォルダ

OS	設定フォルダ
iOS	どこでもリライト\setting ※”どこでもリライト” はアプリケーションフォルダです。
Android	\内部ストレージ\Koatsugas\DokodemoRewrite\setting

”在庫管理”と”工程管理”のテンプレートを配置する場合のイメージは下記図の通りです。

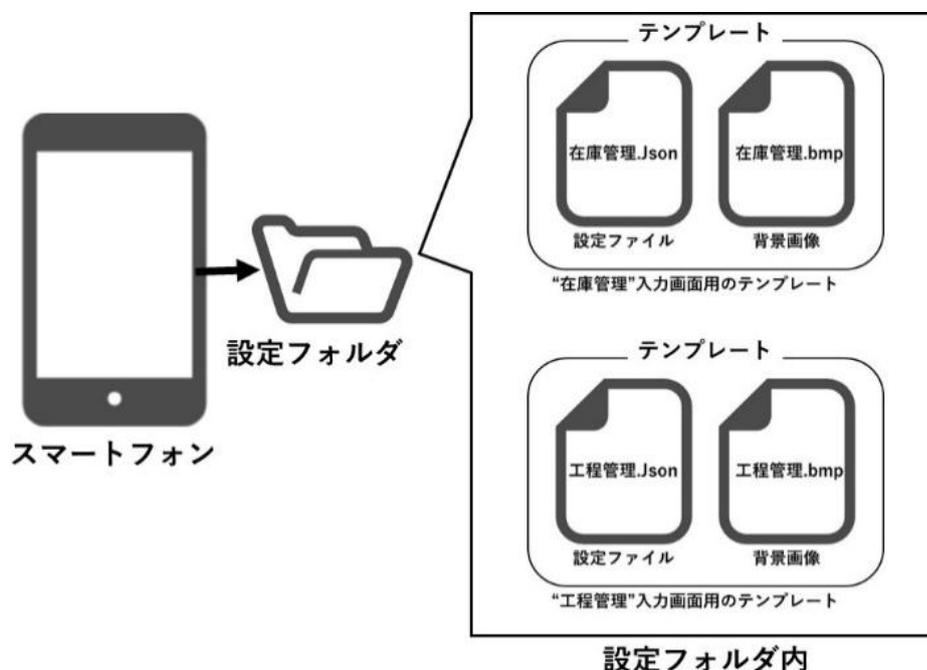


図 6-1 テンプレートの配置イメージ

6.2.1. インストール時の初期テンプレート

どこでもリライトをインストールした直後は、下記の初期テンプレートが自動で設定フォルダに配置されます。現在使用中のテンプレートは、本アプリの「8.8.テンプレート取込画面」から削除可能です。また初期テンプレートは「8.8.テンプレート取込画面」にて再配置も可能です。

表 6-2 初期テンプレート一覧

1 分割	1 次元バーコード	2 分割
4 分割	8 分割	BigQR
QR コード ver	longText	バーコード 4 種
パーツ管理	在庫管理	工程管理
物品管理	設備点検	配送札
配送業務		

6.2.2. 設定ファイル

設定ファイルは本アプリの入力画面における入力方法と画像の描画方法などが記述された Json ファイルです。本アプリの「8.9.テンプレート編集画面(β版)」、または Windows 向けの“どこでもリライト設定アプリ”を用いて作成、変更する事ができます。

6.2.3. 背景画像ファイル

背景画像ファイルは下記フォーマットの bmp ファイルです。入力画面で入力した文字やバーコードは背景画像ファイルに重ねて描画され、ディスプレイタグの表示用の画像として使用されます(図 6-2 表示用の画像生成イメージ)。背景画像ファイルは PC 等の画像編集ソフトを用いて作成する事も可能です。

表 6-3 使用可能な背景画像ファイル

項目	フォーマット
ファイル形式	bmp ファイル
ファイルの種類	モノクロビットマップ
縦ピクセル数	176
横ピクセル数	264

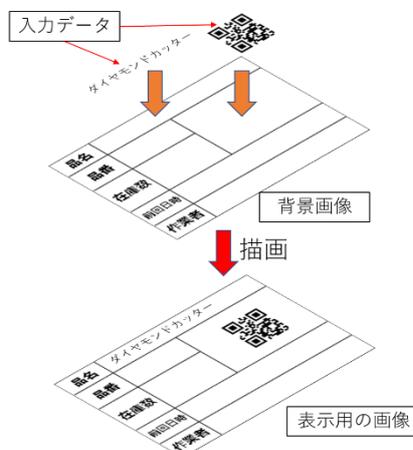


図 6-2 表示用の画像生成イメージ

7. ディスプレイタグの表示発行

以下にディスプレイタグの表示発行に関する説明を記載します。

7.1. ディスプレイタグのアンテナ位置

ディスプレイタグの内部にはNFCのアンテナが内蔵されています。ディスプレイタグのアンテナと本アプリを使用する端末のNFCのアンテナの位置を合わせて通信と電力供給をする事で、ディスプレイタグの表示を発行することができます。下記にディスプレイタグのアンテナの位置を示します。端末のアンテナ位置は端末の取扱説明書などをご確認ください。



図 7-1 ディスプレイタグのアンテナの位置

7.2. 表示の発行

ディスプレイタグの表示発行は入力画面、またはツール画面にて可能です。ディスプレイタグの表示発行処理は下記の①→②→③→④の順に遷移します(正常系の場合)。下記表に①～④の状態を記載します。なお①から④の状態になるまでディスプレイタグを離さないでください。

※下記画面は iOS のものです。Android の場合は表示が少し異なります。



図 7-2 ディスプレイタグの表示発行中の画面

表 7-1 表示発行中のアプリの状態

番号	状態
①	ディスプレイタグの検出を待っている状態です。 端末の NFC アンテナをディスプレイタグのアンテナ部に近づけてください。 ディスプレイタグが検出されると、②に移行します。
②	ディスプレイタグに表示用のデータを転送している状態です。 画面内のプログレスバーにて進捗率が表示されます。 引き続き NFC アンテナからディスプレイタグを離さないでください。

③	ディスプレイタグへの電力供給と状態(ステータス)を取得している状態です。 引き続き NFC アンテナからディスプレイタグを離さないでください。
④	処理が完了した状態です。 NFC アンテナからディスプレイタグを離しても問題はありません。

[エラー表示]

ディスプレイタグの表示発行中にエラーが発生した場合は、下記図 7-3 ディスプレイタグ表示発行時のエラー表示がされ、「11.ログデータ」のデータが出力されます。



図 7-3 ディスプレイタグ表示発行時のエラー表示

表 7-2 エラー表示の説明

番号	説明
①	エラー内容とエラーの詳細がダイアログで表示されます。 入力画面のアプリステータスにも同じ内容が表示されます。 またツール画面内のアプリステータスにも同じ内容が表示されます。
②	OK ボタンでダイアログを閉じます。

[補足]

何度もエラーが発生する場合は「12.Q&A」ページもご確認ください。

8. 画面

以下に本アプリ内の各画面について記載します。

8.1. ログイン画面

ログイン画面では本アプリのアカウントへのログイン認証、またはオフライン利用にて認証ができます。認証する事でメインメニューへ遷移する事が可能です。



図 8-1 ログイン画面

表 8-1 ログイン画面の説明

番号	名称	説明
①	アカウント ID	ログイン用のアカウント ID を入力します。
②	パスワード	ログイン用のパスワードを入力します。
③	ログインボタン	アカウント ID とパスワードが正しい場合に押下する事でログイン認証ができます。ログイン認証に成功するとメインメニューへ遷移します。ログインに失敗すると、画面遷移は行われず、画面下部にエラー内容が表示されます。
④	オフライン利用ボタン	端末内の前回のログインデータを元に認証を行います。認証が有効な場合はメインメニューへ遷移します。 ※使用端末でログイン認証をした事がある場合のみ

8.2. メインメニュー

メインメニューは各画面へ遷移するためのメニュー画面になります。メインメニューへ遷移した直後の初期状態では、入力画面へ遷移するボタンとサブ機能用のボタンのみが表示されています。これら以外の画面へはメインメニュー内のドロワーから遷移可能です。



図 8-2 メインメニュー

表 8-2 メインメニューの説明

番号	名称	説明
①	入力画面遷移ボタン	本アプリで読み込まれたテンプレートがボタンとして表示されます。ボタンを押下するとボタンに表示されている名前の「8.3.入力画面」へ遷移します。
②	ツール画面遷移ボタン	「8.4.ツール画面」へ遷移します
③	クイック読込ボタン	入力画面、またはツール画面の”クイック保存”にて本アプリに保存した入力データを読み込み、入力画面を起動します。
④	タグ読込ボタン(入力)ボタン	ディスプレイタグのデータエリアに保存された入力データを読み取り、入力画面を起動します。
⑤	タグ読込ボタン(URL) ボタン	ディスプレイタグのデータエリアに保存された URL を読み取り、読み取った URL を起動します。
⑥	ドロワー表示ボタン	ドロワーを展開します。 画面の左端からスワイプする事でも展開可能です。
⑦	テンプレート再読み込みボタン	設定フォルダを再度読み込み、入力画面遷移ボタンを再度生成します。
⑧	アカウント有効期限の警告表示	アカウントの有効期限が 20 日以内の場合、残り日数と共に警告が表示されます。それ以外の場合は表示されません。
⑨	ドロワー	⑩～⑯の画面へ遷移する項目を表示します。 ドロワー表示中はドロワー以外をタップ、またはドロワーを右から左へスワイプする事でドロワーを閉じられます。
⑩	ログアウト/ログイン画面	「8.1 ログイン画面」へ遷移します ログインしている場合はログアウトしてからログイン画面

		へ遷移します。
⑪	アカウント設定	「8.5.アカウント設定画面」へ遷移します。
⑫	設定	「8.6.設定画面」へ遷移します。
⑬	QRコード生成	「8.7.QRコード生成画面」へ遷移します。
⑭	テンプレート読込	「8.8.テンプレート取込画面」へ遷移します。
⑮	テンプレート編集(β版)	「0.テンプレート編集画面(β版)画面」へ遷移します。
⑯	ライセンス	「8.10.ライセンス画面」へ遷移します。

8.3. 入力画面

入力画面では、設定ファイルによって可変の入力フォームと固定のユーザーインターフェース(以下、UI という)で構成されています。入力フォームで入力したデータを元にディスプレイタグの表示が発行できます。

8.3.1. 固定の UI

入力画面内に固定で表示される UI は以下の通りです。



図 8-3 固定の UI

表 8-3 固定の UI の説明

番号	名称	説明
①	表示発行ボタン	③の画像をディスプレイタグの表示として発行します。ボタン押下後、端末の NFC アンテナ部分をディスプレイタグの NFC アンテナ部に近づけてください。ディスプレイタグの表示発行の詳細は「7.ディスプレイタグの表示発行」を参照ください。
②	アプリステータス	①または⑦を実行した後の処理結果が表示されます。表示発行が正常に処理が終了した場合は”正常終了”と表示されます。
③	表示発行される画像	背景画像に各リージョンの入力データを描画した画像が表示されます。①を押下した際にディスプレイタグに転送される画像になります。
④	入力フォーム	設定ファイルを元に生成されます。

		詳細は「8.3.2.入力フォーム」を参照ください。
⑤	クリアボタン	④の入力フォームのデータを全てクリアします
⑥	クイック保存ボタン	現在の入力データをカスタム URL に変換し、クリップボードと本アプリ内に保存します(1 件のみ)。保存したデータはメインメニュー、またはツール画面の”クイック読込”ボタンから読み込むことで入力データを復元できます。
⑦	タグに保存ボタン	現在の入力データをカスタム URL に変換し、ディスプレイタグのデータエリアに保存します。保存したデータはメインメニュー、またはツール画面の”タグ読込(入力)”ボタンから読み込むことで入力データを復元できます。 ディスプレイタグのデータエリアに既に URL のデータがあり、且つ URL を削除しないと保存できない場合は、URL のデータを削除するか否かのダイアログが表示されます。

8.3.2. 入力フォーム

入力フォームは”リージョン”という単位で構成されています。リージョンは背景画像に描画される 1 つの区画を表しており、リージョンごとに 1 つの入力が可能です。各リージョンの入力と、設定ファイル内の設定を元に背景画像上に描画され、ディスプレイタグ用の画像が生成されます。

[補足]

リージョン番号の小さいものから順に描画されます。

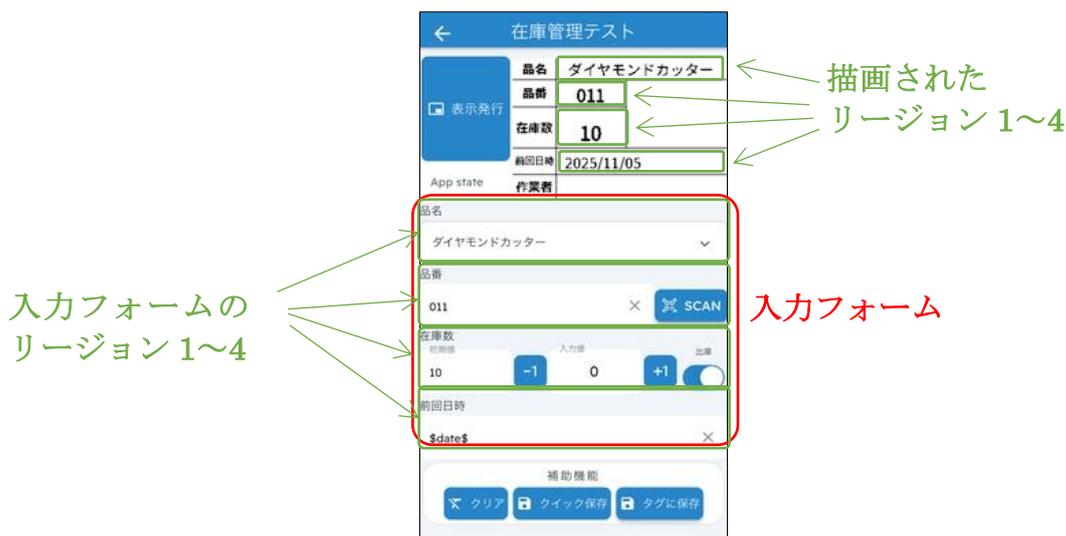


図 8-4 入力フォームとリージョン

8.3.3. リージョンの設定項目一覧

設定ファイル内でリージョン毎に設定可能な項目は下記の通りです。

表 8-4 リージョンの設定項目の一覧

分類	名称	設定可能な条件	説明
	リージョン名		入力画面でリージョンの左上に表示されます。描画には使用されません。
入力関係	初期値		入力の初期値です。
	入力方法		下記から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト入力 詳細は「8.3.4.1.テキスト入力」参照 ・バーコード入力 詳細は「8.3.4.2.バーコード入力」参照 ・選択入力 詳細は「8.3.4.3.選択入力」参照 ・加算/減算入力 詳細は「8.3.4.4.加算/減算入力」参照
	選択肢	入力方法が選択入力の場合	選択入力の場合に使用する選択肢です。
描画関係	有効化		描画の有効/無効を指定します。 無効な場合、入力は可能ですが描画はされません。
	描画タイプ		下記から選択します。 テキスト/バーコード/2次元バーコード
	フォントサイズ	描画タイプがテキストの場合	表示する文字のフォントサイズを指定します。
	水平位置		水平方向の表示位置を下記から選択します。 左寄せ/中央寄せ/右寄せ
	太字		太字(ボールド)のあり/なしを指定します。
	反転		反転表示のあり/なしを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・反転表示あり(白背景に黒い文字を表示) ・反転表示なし(黒背景に白い文字を表示)
	バーコード規格		描画タイプがバーコード
		描画タイプが2次元バーコード	下記規格から選択します。 QR/DataMatrix/Aztec/PDF417
	誤り訂正レベル	描画タイプが2次元バーコード&規格がQR	下記から選択します。 レベル L(約 7%) / レベル M(約 15%) レベル Q(約 25%) / レベル H(約 30%)
	開始 x 座標		リージョンの開始位置の x 座標を指定します。 設定可能値:0~263
	開始 y 座標		リージョンの開始位置の y 座標を指定します。 設定可能値:0~175
	終了 x 座標		リージョンの終了位置の x 座標を指定します。 設定可能値:0~263
	終了 y 座標		リージョンの終了位置の y 座標を指定します。 設定可能値:0~175
回転角度		右方向(時計回り)の回転角度を指定します。	

8.3.4. 設定可能な入力方法

以下にリージョンで設定可能な入力方法について記載します。

8.3.4.1. テキスト入力

キーボードによる自由な入力が可能です。



図 8-5 テキスト入力

8.3.4.2. バーコード入力

リージョンの右の“SCAN”ボタンを押下する事で端末のカメラを使用してバーコード、または2次元バーコードを読み取ります。読み取り後、取得したデータを入力します。キーボードによる編集も可能です。

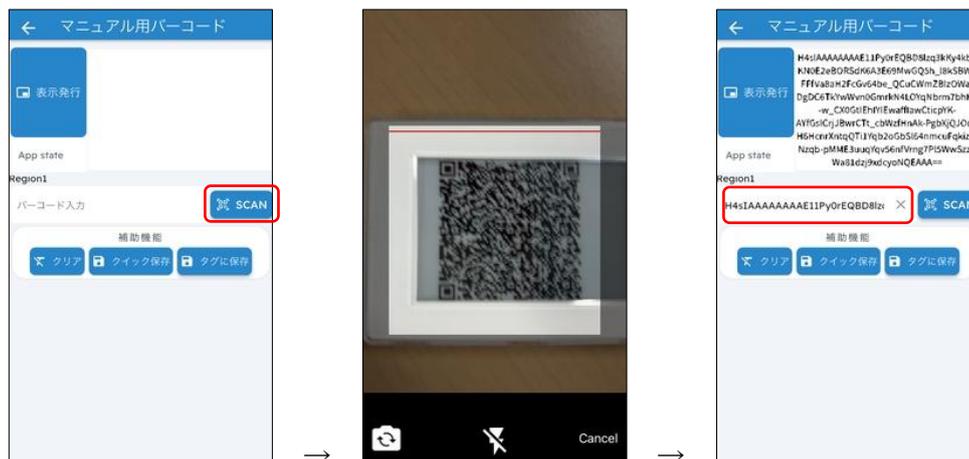


図 8-6 バーコード入力

8.3.4.3. 選択入力

設定ファイルにて設定した選択肢から選択して入力を行います。



図 8-7 選択入力

8.3.4.4. 加算/減算入力

リージョンの初期値に対し、入力した数値で加算または減算した結果を描画します。入力は直接数値を入力するか、左右の-1 ボタンと+1 ボタンで入力値を変更できます。リージョンの右のスイッチで出庫(減算)と入庫(加算)を切り替える事ができます。

[補足]

“ディスプレイタグへのデータ自動保存”の設定が ON の場合、加算/減算入力を利用して在庫管理に近い運用が可能です。



図 8-8 加算/減算入力

8.3.5. 置換入力

入力フォームにて表 8-5 置換入力の一覧のフォーマットの入力をする、特定の文字列に置換されて描画されます。置換入力はテキスト入力、バーコード入力、選択入力の場合に使用できます。



図 8-9 置換入力の例

表 8-5 置換入力の一覧

名称	フォーマット	説明	入力例	描画例
年月日置換	\$date\$	使用端末のシステム日時から”YYYY/MM/DD”フォーマットに置換されます。	\$date\$	2025/01/01
時間置換	\$time\$	使用端末のシステム日時から”hh:mm:ss”フォーマットに置換されます。	\$time\$	12:15:10
リージョン置換	\$r1\$ ※l=置換するリージョンの番号(数字)	参照先のリージョンの入力データに置換されます。	\$r1\$	“ダイヤモンドカッター” ※リージョン1の入力が”ダイヤモンドカッター”の場合
リージョン置換(文字数指定)	\$r1(m,n)\$ l=置換するリージョンの番号(数字) m=置換を開始する位置(数字) n=置換する文字数(数字)	参照先のリージョンの入力データの一部のみ置換します。(m 番目の文字から n 文字分置換します)	\$r1(1,6)\$	“ダイヤモンド” ※リージョン1の入力が”ダイヤモンドカッター”の場合

8.4. ツール画面

ツール画面では単一の機能や本アプリのステータスなどを確認できます。ディスプレイタグの表示を変更する機能に関しては「7.ディスプレイタグの表示発行」もご確認ください。



図 8-10 ツール画面

表 8-6 ツール画面の説明

番号	名称	説明
①	画面クリアボタン	ディスプレイタグの表示をクリア(全面黒)にします。
②	IDm リードボタン	ディスプレイタグを含む FeliCa タグの IDm を読み取り、⑪に 表示します。
③	タグに保存ボタン	直前の入力画面の入力データをカスタム URL に変換してディスプレイタグのデータエリアに保存します。保存したデータはメインメニュー、またはツール画面の”タグ読込(入力)”ボタンで読み込み、入力画面を復元できます。
④	プログレスバー	本画面にてディスプレイタグへ画像を転送する際の進捗率をパーセント(%)で表示します。
⑤	画像転送ボタン	ファイルブラウザからファイルを選択してディスプレイタグへ画像を転送します。 ※転送可能な画像は背景画像ファイルと同じフォーマットの画像ファイルのみです。
⑥	ステータスリードボタン	ディスプレイタグの現在のステータスを取得します。
⑦	タグ読込(入力)ボタン	ディスプレイタグのデータエリアに保存された入力データを読み取り、入力画面を復元します。
⑧	クイック読込ボタン	入力画面、またはツール画面の”クイック保存”にて本アプリに保存した入力データを読み込みます。
⑨	URL 起動ボタン	左のテキスト入力された URL を起動します。
⑩	URL 保存ボタン	左のテキスト入力された URL をディスプレイタグへ保存します。保存したデータはメインメニューの”タグ読込(URL)”ボタンで読み込み、起動できます。
⑪	アプリステータス	直前に行った処理に関する下記項目が表示されます。(入力画面の処理結果も含みます) IDm / 処理時間 / 処理結果

8.5. アカウント設定画面

アカウント設定画面では現在ログインしているアカウントの情報の確認および、パスワードの変更が可能です。パスワード変更はログインしている場合のみ表示されます。(オフライン利用の場合は表示されません)



図 8-11 アカウント設定画面

表 8-7 アカウント設定画面の説明

番号	名称	説明
①	アカウント ID	ログインしているユーザーのアカウント ID が表示されます。
②	ライセンス名	ログインしているユーザーのライセンス名が表示されます。
③	ライセンス期限	ログインしているユーザーのライセンス期限が表示されます。
④	新規パスワード	パスワード変更する場合、変更後のパスワードを入力します。
⑤	新規パスワード(確認)	④と同じパスワードを入力します(確認用)
⑥	変更ボタン	パスワードを変更します。 下記条件が全て揃った場合のみ実行可能です。 [パスワード変更の条件] ・インターネットへ接続可能な状態である。 ・④と⑤のパスワードが一致している ・新規パスワードに大文字・小文字の英字、数字が最低 1 つ含まれている。 ・新規パスワードを 8 文字以上にしている。

8.6. 設定画面

設定画面では、入力画面およびディスプレイタグの通信設定が可能です。save ボタンを備えている設定項目は save ボタンを押下する事で設定値を保存します。



図 8-12 設定画面

表 8-8 設定画面の説明

番号	名称	初期値	説明
①	テキスト入力行数	1 (単位:行)	テキスト入力時の入力欄の表示行数を指定できます。 2 以上を指定するとテキスト入力時にキーボードにて改行が入力できるようになります。
②	垂直方向の文字の表示位置	Middle (=中央寄せ)	テキストを描画する際の垂直方向の文字の表示位置を設定します。
③	即時表示発行する (外部アプリ連携時)	無効	外部アプリ等からカスタム URL にて入力画面を起動した直後に自動で表示発行をする/しないを設定します。
④	上記の後自動でメインメニューへ戻る	無効	③を実行した後、正常終了した際に自動でメインメニューへ戻る/戻らないを設定します。
⑤	ディスプレイタグへのデータ自動保存	無効	入力画面にてディスプレイタグの表示発行する際、ディスプレイタグのデータエリアに入力データを自動で保存する/しないを設定します。
⑥	データ保存時の優先	無効	⑤が有効且つ、ディスプレイタグのデータエリアに URL のデータがあり、これを削除する事で入力データが保存可能な場合、URL のデータを削除して入力データを保存する/しないを設定します。
⑦	圧縮転送の有効化	有効	ディスプレイタグの表示発行時、データの圧縮転送の有効/無効を指定します。
⑧	ディスプレイタグ通信設定の UI 拡張		タップする事でディスプレイタグの通信設定を表示します。 ディスプレイタグの通信設定はメーカーの指示がない限り変更しないでください。

8.7. QRコード生成画面

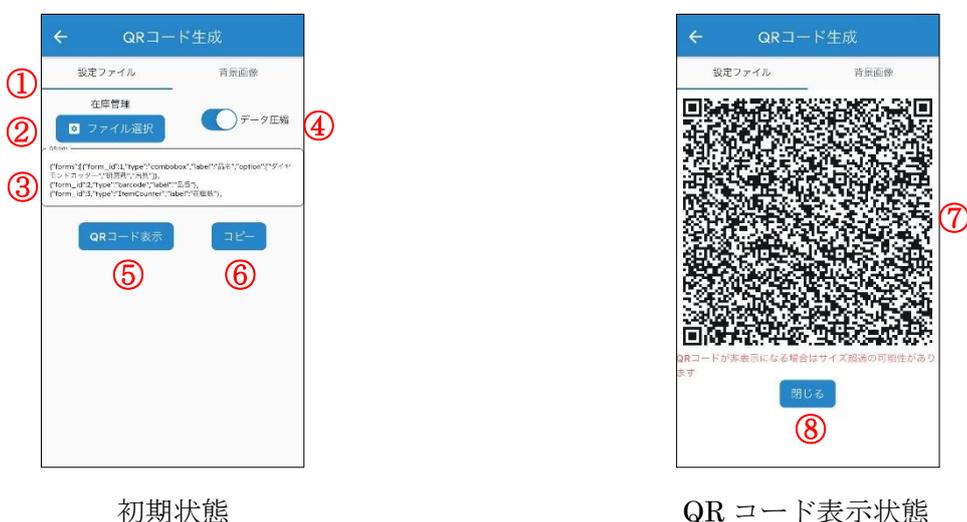
QRコード生成画面では、設定ファイルおよび背景画像ファイルのデータをQRコードとして画面に表示する事が可能です。主に別の端末へテンプレートを提供するために使用します。(テンプレートを受け取る側の端末はテンプレート取込画面からQRコードを読み取ります)。画面上部の”設定ファイル”、”背景画像”のタブを切り替えて機能を選択できます。以下にタブごとの機能を記載します。
[Tips]

ネットワークストレージや iCloud などに端末が接続している場合は、これらに保存されたファイルも選択可能です。

[注意]

QRコードはデータサイズに上限があります。設定ファイル、背景画像ファイルによっては、QRコードにできない場合があります。

- 設定ファイルタブ
選択した設定ファイルをQRコードで表示します。



初期状態

QRコード表示状態

図 8-13 設定ファイルタブ

表 8-9 設定画面(設定ファイルタブ)の説明

番号	名称	説明
①	タブ選択	設定ファイル用のタブと背景画像用のタブを切り替えます。
②	ファイル選択ボタン	ボタンを押下するとファイルブラウザが起動し、設定ファイルを選択できます。選択した設定ファイルのデータは③に表示されます。
③	設定ファイルデータ	②で選択した設定ファイルのデータが表示されます。
④	データ圧縮スイッチ	QRコードに表示するデータを圧縮する/しないを切り替えます。ON=圧縮したデータを表示する/OFF=③のまま表示する
⑤	QRコード表示ボタン	QRコードを表示状態にします(図 8-13 設定ファイルタブ)
⑥	コピーボタン	QRコードのデータを端末のクリップボードにコピーします。
⑦	QRコード	③のデータを「8.8 テンプレート取込画面」にて取り込み可能なデータに変換したQRコードです。 タップすると表示を閉じます。
⑧	閉じるボタン	QRコードの表示を閉じます。

- 背景画像タブ
選択した背景画像を QR コードで表示します。

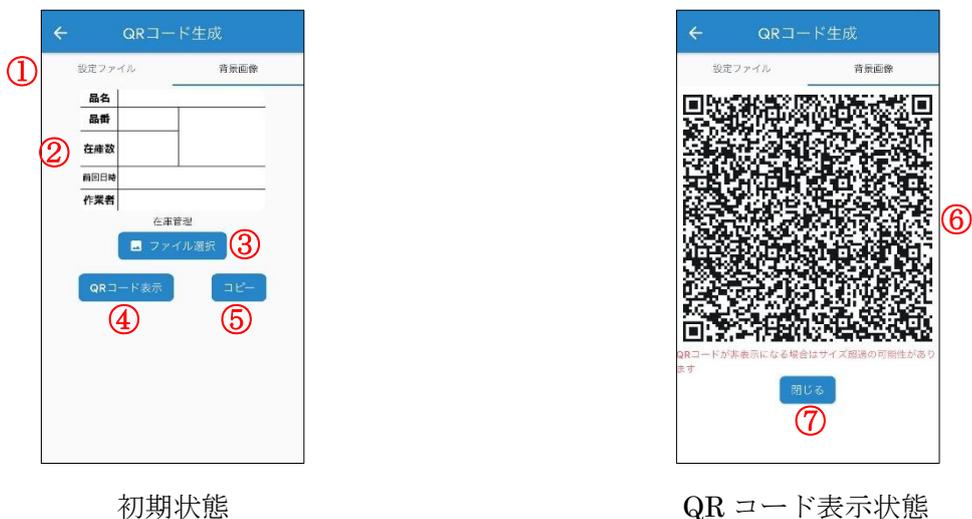


図 8-14 背景画像タブ

表 8-10 設定画面(設定ファイルタブ)の説明

番号	名称	説明
①	タブ選択	設定ファイル用のタブと背景画像用のタブを切り替えます。
②	背景画像	③で選択した背景画像が表示されます。
③	ファイル選択ボタン	ボタンを押下するとファイルブラウザが起動し、背景画像を選択できます。選択した背景画像は②に表示されます。
④	QRコード表示ボタン	QRコード(図 8-14 背景画像タブ)を表示します。
⑤	コピーボタン	QRコードのデータを端末のクリップボードにコピーします。
⑥	QRコード	②の画像データを「8.8.テンプレート取込画面」にて取り込み可能なデータに変換したQRコードです。タップすると表示を閉じます。
⑦	閉じるボタン	QRコードの表示を閉じます。

8.8. テンプレート取込画面

テンプレート取込画面では、テンプレート(設定ファイルと背景画像ファイル)の取込み、および削除が可能です。テンプレートの取込方法、または削除に応じて画面上部の“ファイル選択”、“QR”、“削除”のタブを切り替えて機能を選択します。以下にタブごとの機能を説明します。

- ファイル選択タブ

ファイルブラウザ操作により設定ファイル、または背景画像ファイルを選択して本アプリの設定フォルダにコピーを保存します。保存するファイル名は任意に入力できます(保存するファイル名は、入力画面名になります)。本タブを選択した初期状態では UI が閉じられていますので、取り込むファイルの UI を展開してください。

[Tips]

- ネットワークストレージや iCloud などに端末が接続している場合は、これらに保存されたファイルも選択可能です。
- 端末内の設定フォルダから使用中の設定ファイルを選択する事でコピーも可能です。



図 8-15 ファイル選択タブ

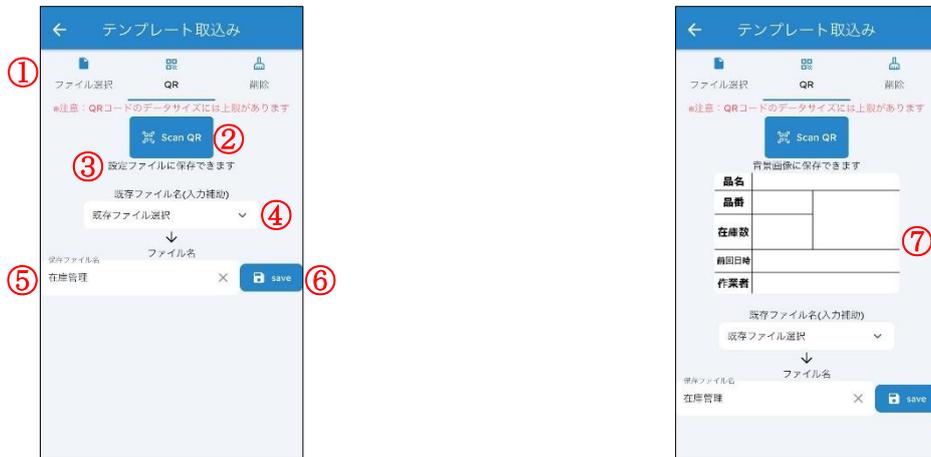
表 8-11 ファイル選択タブ(背景画像関係)の説明

番号	分類	名称	説明
①	-	タブ選択	ファイル選択、QR、削除のタブを切り替えます。
②	-	背景画像用 UI 表示	背景画像ファイルを取り込むための UI を表示します。
③	-	設定ファイル用 UI 表示	設定ファイルを取り込むための UI を表示します。
④	背景画像	背景画像	⑤で選択した背景画像が表示されます
⑤	背景画像	ファイル選択ボタン	背景画像ファイルを選択するボタンです。ボタンを押下するとファイルブラウザが起動し、背景画像を選択できます。選択した背景画像は④に表示されます。
⑥	背景画像	使用可否メッセージ	ファイル選択したファイルが使用可能かの判定が表示されます。

⑦	背景画像	既存テンプレート名コンボボックス	既存のテンプレートに上書き保存する場合は、こちらのコンボボックスから選択できます。選択したファイル名は⑧に入力されます。 ※テンプレートとして本アプリに読み込み済みのものが表示されます。
⑧	背景画像	保存ファイル名	保存するファイル名を入力します。
⑨	背景画像	ファイル保存ボタン	押下すると⑧のファイル名で設定フォルダに保存されます。取込可能な背景画像ファイルを選択されている場合のみ有効です。
⑩	設定ファイル	ファイル選択ボタン	設定ファイルを選択するボタンです。ボタンを押下するとファイルブラウザが起動し、設定ファイルを選択できます。
⑪	設定ファイル	使用可否メッセージ	ファイル選択したファイルが使用可能かの判定が表示されます。
⑫	設定ファイル	既存テンプレート名コンボボックス	既存のテンプレートに上書き保存する場合は、こちらのコンボボックスから選択できます。選択したファイル名は⑬に入力されます。 ※テンプレートとして本アプリに読み込み済みのものが表示されます
⑬	設定ファイル	保存ファイル名	保存するファイル名を入力します。
⑭	設定ファイル	ファイル保存ボタン	押下すると⑬のファイル名で設定フォルダに保存されます。取込可能な設定ファイルを選択されている場合のみ有効です。

- QR タブ

本アプリの「8.7.QR コード生成画面」、または Windows 向けの“どこでもリライト設定アプリ”にて表示した QR コードからファイルを取り込む事ができます。設定ファイル、背景画像ファイルの両方に対応しています。



QR コード読み取り時(設定ファイル)

QR コード読み取り時(背景画像ファイル)

図 8-16 QR タブ

表 8-12 QR タブの説明

番号	名称	説明
①	タブ選択	ファイル選択、QR、削除のタブを切り替えます。
②	Scan QR ボタン	QR コードを読み取るためにカメラを起動します 設定ファイル用、背景画像ファイル用の QR コードのいずれも読み取れます。
③	使用可否メッセージ	②で読み取った QR コードのファイルが使用可能かの判定が表示されます。
④	既存テンプレート名コンボボックス	既存のテンプレートに上書き保存する場合は、こちらのコンボボックスから選択できます。選択したテンプレート名は⑤に入力されます。 ※テンプレートとして本アプリに読み込み済みのものが表示されます。
⑤	保存ファイル名	保存するファイル名を入力します。
⑥	ファイル保存ボタン	押下すると⑤のファイル名で設定フォルダに保存されます。⑤のファイル名の入力必須です。
⑦	背景画像	読み取った QR コードのデータが使用可能な背景画像の場合、表示されます。

- 削除タブ
設定フォルダ内の単一のテンプレート、または全てのテンプレートを削除できます。

[注意]

削除したテンプレートは復元できませんのでご注意ください。



図 8-17 削除タブ

表 8-13 削除タブの説明

番号	名称	説明
①	タブ選択	ファイル選択、QR、削除のタブを切り替えます。
②	テンプレート選択コンボボックス	削除するテンプレートを選択します。 ※テンプレートとして本アプリに読み込み済みのものが表示されます。
③	テンプレート削除ボタン	②で選択したテンプレートを削除します。 ※復元できませんので、ご注意ください。
④	テンプレートを全て削除ボタン	設定フォルダにあるファイルを全て削除します。 ※復元できませんので、ご注意ください。
⑤	初期テンプレートの再配置ボタン	「6.2.1.インストール時の初期テンプレート」が設定フォルダ内に再配置されます。 設定フォルダ内にテンプレートが無い状態でのみ実行可能です。

8.9. テンプレート編集画面(β版)

テンプレート編集画面(β版)では、新規のテンプレート作成や既存の設定ファイルの編集、および背景画像ファイルの変更などが可能です。設定可能な設定項目の詳細は「表 8-4 リージョンの設定項目の一覧」をご確認ください。本機能は現時点(2025/12)ではβ版として提供しています。

[Tips]

既存のテンプレートを選択して別名で保存する事で、テンプレートのコピーも可能です。



図 8-18 テンプレート編集画面の説明 1

表 8-14 テンプレート編集画面の説明 1

番号	名称	説明
①	テンプレート選択コンボボックス	既存のテンプレート編集する場合は選択します。選択後、設定ファイルと背景画像を本画面に取り込みます。 ※テンプレートとして本アプリに読み込み済みのものが表示されます。
②	保存名	③または④で保存する名称を入力します。既存のテンプレートを選択した場合はテンプレート名が自動で入力されます。
③	設定ファイルのみ保存ボタン	現在の設定ファイルの内容で保存します。
④	テンプレート保存ボタン	現在の設定ファイルと背景画像を保存します。
⑤	クリップボードコピーボタン	現在の設定ファイルの内容をクリップボードにコピーします。
⑥	QRコード表示ボタン	現在の設定ファイルの内容をQRコード生成画面に渡します。
⑦	背景画像選択ボタン	ファイルブラウザが起動し、背景画像を選択できます。選択した背景画像は本画面に取り込まれます。
⑧	プレビュー	現在の背景画像にリージョンを重ねたプレビューが表示されます。
⑨	スクロールボタン	本画面の最上部へスクロールします。このボタンは画面に常に表示されます。



図 8-19 テンプレート編集画面の説明 2(入力関係)

表 8-15 テンプレート編集画面の説明 2(入力関係)

番号	名称	説明
①	リージョン名	リージョン名を設定します。
②	入力方法	リージョンの入力方法を選択します。
③	初期値の種類	リージョンの初期値の種類を選択します。
④	初期値	リージョンの初期値を設定します。
⑤	選択肢設定	選択入力の場合のみ表示されます。 選択肢を修正、削除できます。
⑥	選択肢の追加ボタン	選択肢を追加します。



図 8-20 テンプレート編集画面の説明 3(描画関係)

表 8-16 テンプレート編集画面の説明 3(描画関係)

番号	名称	設定可能な条件	説明
①	描画タイプ		描画タイプを指定します。
②	フォントサイズ	描画タイプがテキスト	文字のサイズを指定します。
③	水平位置	描画タイプがテキスト	文字の水平方向の位置を指定します。
④	太字	描画タイプがテキスト	通常/太字を指定します。
⑤	反転	描画タイプがテキスト	反転表示のあり/なしを指定します。
⑥	開始 x 座標		リージョンの開始位置の x 座標を指定します。
⑦	終了 x 座標		リージョンの終了位置の x 座標を指定します。
⑧	開始 y 座標		リージョンの開始位置の y 座標を指定します。
⑨	終了 y 座標		リージョンの終了位置の y 座標を指定します。
⑩	有効化		リージョンの有効化/無効化を指定します。
⑪	右回転		リージョンの右(時計周り)回転の角度を指定します。
⑫	バーコード規格	描画タイプがバーコード、または 2 次元バーコード	バーコード、または 2 次元バーコードの規格を指定します。
⑬	誤り訂正レベル	描画タイプが 2 次元バーコード且つバーコード規格が QR	QR コードの誤り訂正レベルを指定します。

8.10. ライセンス画面

ライセンス画面では本アプリのバージョン情報や、使用されているライブラリのライセンス情報が確認できます。

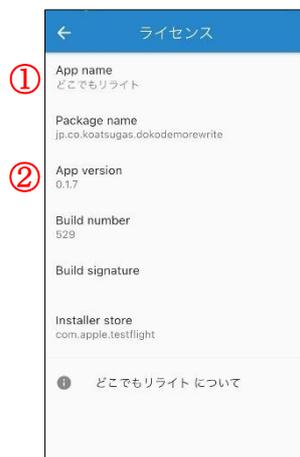


図 8-21 ライセンス画面

表 8-17 削除タブの説明

番号	名称	説明
①	App name	アプリ名が表示されます
②	App version	インストールされているバージョンが表示されます。

9. カスタム URL による各画面の起動

本アプリの各画面は、対応したカスタム URL を起動する事でアプリの起動と画面遷移を同時に行えます。ただしログイン中、またはオフライン利用が可能な状態である必要があります。各画面の起動用の URL は下記の表の通りです。入力画面の用のカスタム URL のフォーマットは別紙”DokodemoRewrite_annex01_02_カスタム URL スキームインターフェース仕様書”を参照ください。

表 9-1 各画面のカスタム URL

画面名	URL
ログイン画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/login
メインメニュー	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/mainmenu
ツール画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/tool
アカウント設定画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/accountsetting
設定画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/setting
QR コード生成画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/createqr
テンプレート取込画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/readtemplate
テンプレート編集画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/edittemplate
ライセンス画面	jp.co.koatsugas.epaperissue://open/license

以下は上記 URL を QR コード化したものです。
カメラアプリ等で読み取る事で各画面の起動ができます。



ログイン画面



メインメニュー



ツール画面



アカウント設定画面



設定画面



QR コード生成画面



テンプレート取込画面



テンプレート編集画面



ライセンス画面

10. 履歴データ

ディスプレイタグの表示を発行すると、表示発行した際の入力データを履歴データとして csv ファイルに出力します。出力されるファイルは、OS ごとの特定フォルダに出力されます。履歴データは、常に最後尾に追記されて更新されます。

表 10-1 OS ごとの履歴ファイルの出力先

OS	出力先
iOS	どこでもリライト\history.csv ※上記”どこでもリライト”はアプリケーションフォルダです。
Android	\内部ストレージ\Koatsugas\DokodemoRewrite\history.csv

11. ログデータ

ログデータは OS ごとの特定フォルダに出力されます。ログデータは主にエラー発生時などに出力されます。出力されるデータは、常に最後尾に追記されて更新されます。

表 11-1 OS ごとのログファイル出力先

OS	出力先
iOS	どこでもリライト\Dokodemorewrite.log ※上記”どこでもリライト”はアプリケーションフォルダです。
Android	\内部ストレージ \Koatsugas\DokodemoRewrite\Dokodemorewrite.log

12.Q&A

Q.ディスプレイタグの表示書き換え時がうまくいかない。エラーになる。

A.使用端末による NFC の電波出力が不十分、または電波環境が良くない可能性があります。

下記を参考にご確認ください。

- 端末の電波出力は十分か
入力画面にて表示の書き換えがうまくいかない場合は、一度ツール画面から画面のクリアなどをお試しください。
- 端末の設定で NFC 機能が ON になっているか
- ディスプレイタグとの距離が離れていないか
- ディスプレイタグの周囲(横や背面)に金属が無いか
例.ディスプレイタグを金属製の机に置いて書き換えしようとしている
- 端末の周辺に電波を阻害するものが無いか
例.端末のケースが電波を阻害する素材の場合など
- 表示の書き換え処理の完了前にディスプレイタグを離していないか
「7.2.表示の発行」も参考にしてください。

Q.設定ファイルを設定フォルダ設定フォルダに入れたのに、メインメニューに入れたはずの入力画面用のボタンがありません。

A.1つの入力画面に対して、同じファイル名の設定ファイルと背景画像ファイルを設定フォルダに配置する必要があります。入れられたファイルのファイル名をご確認ください。

Q.ディスプレイタグに表示したバーコードが読み取れません。

A.Code39や Code128 の場合、ディスプレイタグに表現可能な文字数はおおよそ下記の通りです。
下記以上の文字を入れようとした場合読み取り辛くなる可能性があります。

Code39 : 15 文字～16 文字

Code128 : 英数字のみで 19 文字。数字のみで 33 文字。

上記以上の文字数が必要な場合、別のバーコードや二次元バーコードの使用をご検討ください。

改訂歴

2025/12/22 第1版 発行

改訂	改訂箇所	改訂理由
2025.12.22	第1版 発行	新規作成のため